

くろしお協力隊に聞く



【今月の担当者】
地域おこし協力隊
(観光ネットワーク担当)
たきもと じゅんぺい
瀧本 淳平

◎昨年1年間はどんな年でしたか？

① 2024年を振り返ると、防災ツーリズムに特に注目が集まった年だったように思います。1月1日は能登半島地震、4月17日には豊後水道地震が発生するなど自然災害が多かった年で、それに比例して防災ツーリズムの受け入れ件数が増えた年でした。そのほか、観光関連のセミナーに参加したり、防災関連企業をモニターとして受け入れご意見をいただいたり、海外団体の受け入れなどもありました。それらを踏まえると、現在の高知県の観光テーマである「どっぷり高知旅」のように、観光事業に入り込んだ年でもありましたね。モニターツアーや海外団体の受け入れを含めて、外から町を見つめ直す機会が多く、収穫の多い年になりました。

◎観光事業に携わる方から見た黒潮町の魅力は？

① 家族みんながまるっと楽しめるところに魅力を感じます。スポーツ環境も整っているし、海をぼーっと眺めても良し、夏には花火もある。また特産品も充実していて、老若男女問わずワイワイできる場所も強みだと感じます。また、自然・防災・特産品加工などの「学び」ができる場所も魅力の1つだと思います。



地域防災実感プログラム受け入れ時の様子

◎協力隊の任期も残り1年をきりました。任期終了後はどんなことをする予定ですか？

① まだ決定してはいませんが、今の観光セクションに携わった経験を活かせるような仕事につなげていきたいと思っています。

協力隊から一言！

黒潮町の“どっぷりど級”なファンを増やせるように突っ走ります！

Kramer's Corner クレマのコーナー



今月のテーマ スーパーボウル

今月もクレマのコーナーをお読みいただきありがとうございます。今回は、2月のアメリカ文化の定番、スーパーボウルを紹介したいと思います。スーパーボウルとは、アメリカンフットボールリーグの優勝決定戦であり、アメリカの最大スポーツイベントです。毎年2月の日曜日に開催されており、スーパーボウル当日はスーパーボウルサンデーと呼ばれ、家族や友だちが家で集まり試合を見ながら賑やかなパーティーをする日です。非常に人気があり、スーパーボウルのテレビ中継はアメリカでは毎年最も視聴される番組になっています。それに、試合前半と後半の間に行われるハーフタイムショーでは、毎回大人気の歌手が登場し、フットボールに興味がない人までも魅了します。これほど大規模なイベントは、チケット代も同様に超高額。今年は、グラウンドから一番遠い席は65万円、一等席はなんと300万円もかかります。

チケット代がこれだけ高いので、ほとんどの人は自宅でテレビ中継を見ます。家族や友だちと一緒に応援するチームのジャージを着て、試合を見ながらビールを飲んだり、ハンバーガーやピザ、ホットドッグを食べたりするスーパーボウルパーティーをします。子どもの頃の僕はフットボールに興味なかったが、パーティーをすることを毎年楽しみにしていました。また、これだけ多くの人が見るイベントなので、放送中に流れるCMに各会社が力を入れ、できるだけ面白いものを作ります。僕はいつも実際の試合よりそれを見る方が楽しかったです。今年のスーパーボウルはアメリカの2月9日(日本の2月10日の朝)になりますので、興味があれば見てみてください。



今月の使える！英語

Let's throw a Super Bowl Party!
スーパーボウルパーティーをしよう！

パーティーなどのイベントを開催することを英語で言うと、いろいろな言い方があるが、そのひとつは「throw a...」。例：throw a party(パーティーをする)。throw a celebration(お祝いをする)。

